

新潟県立大学北東アジア研究所  
開設記念セミナー

第2回 「様変わりした北東アジアの貿易と物流」

# 最近の世界的危機の下での モンゴルの経済と貿易

新潟県立大学 (ERINA-UNP)

北東アジア研究所 教授 (経済学博士) エンクバヤル・シャクダル

# 概要

- I. モンゴルの概要
- II. マクロ経済の動向
  - GDP、インフレ率
  - 貿易
- III. 結論

# Ⅰ モンゴルの概要



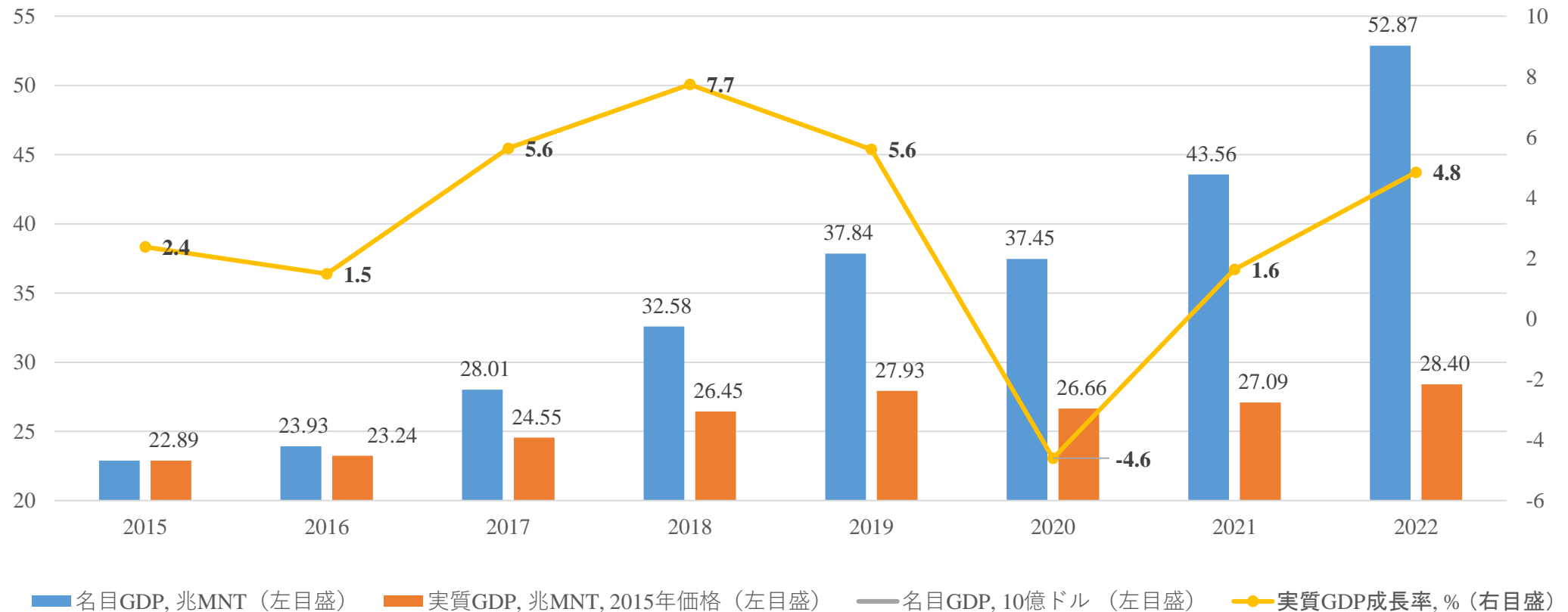
## 行政区分と人口（2022年）

アイマグ（県）／合計数 首都／地区数	21/330 ウランバートル/9
人口：百万人（前年比増減率）	
- 合計	3.458 (↑1.4%)
- 居住者	3.312 (↑1.8%)
- 35歳未満	全体の61.2%
- 労働力人口	1.225 (↓2.0%)
都市人口：	全体の70.1% (↑2.4%)
ウランバートル (都市部の69.8%)	169.2万人 (↑3.2%)

## II マクロ経済の動向

### 図1 モンゴルのGDP動向

モンゴル経済は新型コロナウイルスのパンデミック・ショック以降「V字型」回復を達成することができたが、最近の世界的な危機は潜在能力をフルに発揮する重しとなっている。2023年第1四半期の経済成長率は7.9%であった。

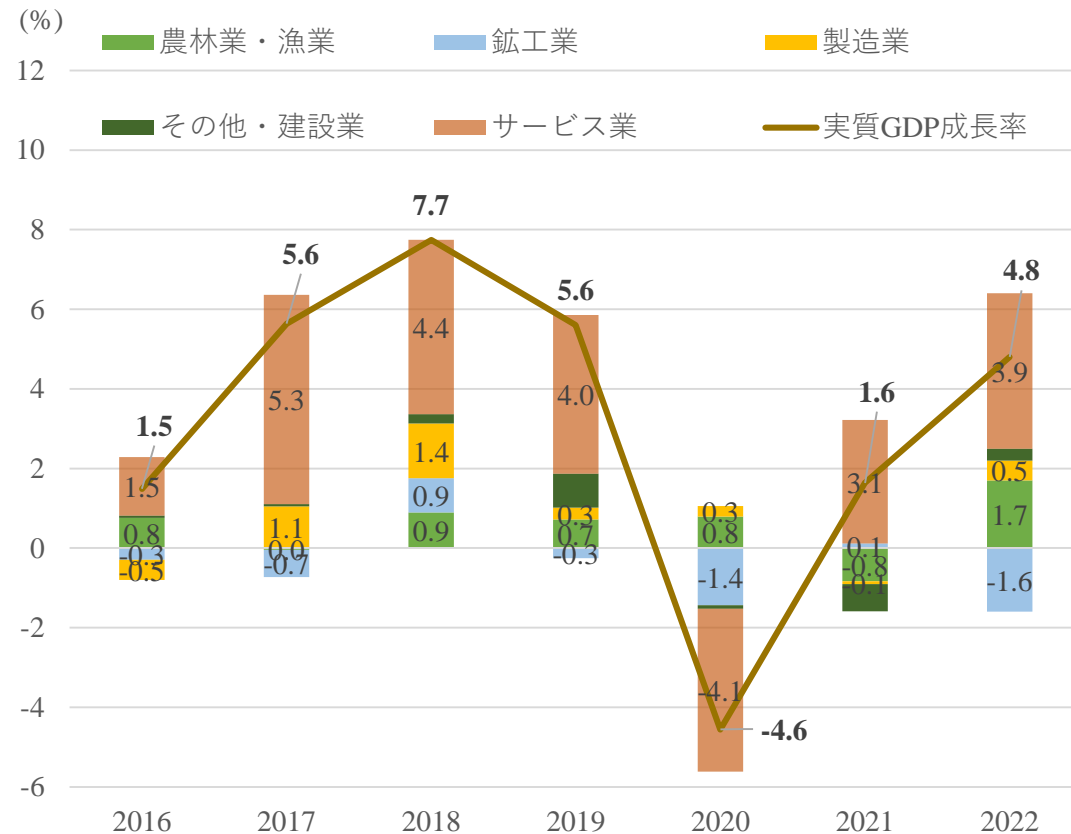


出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

# モンゴル：実質GDP成長率への寄与

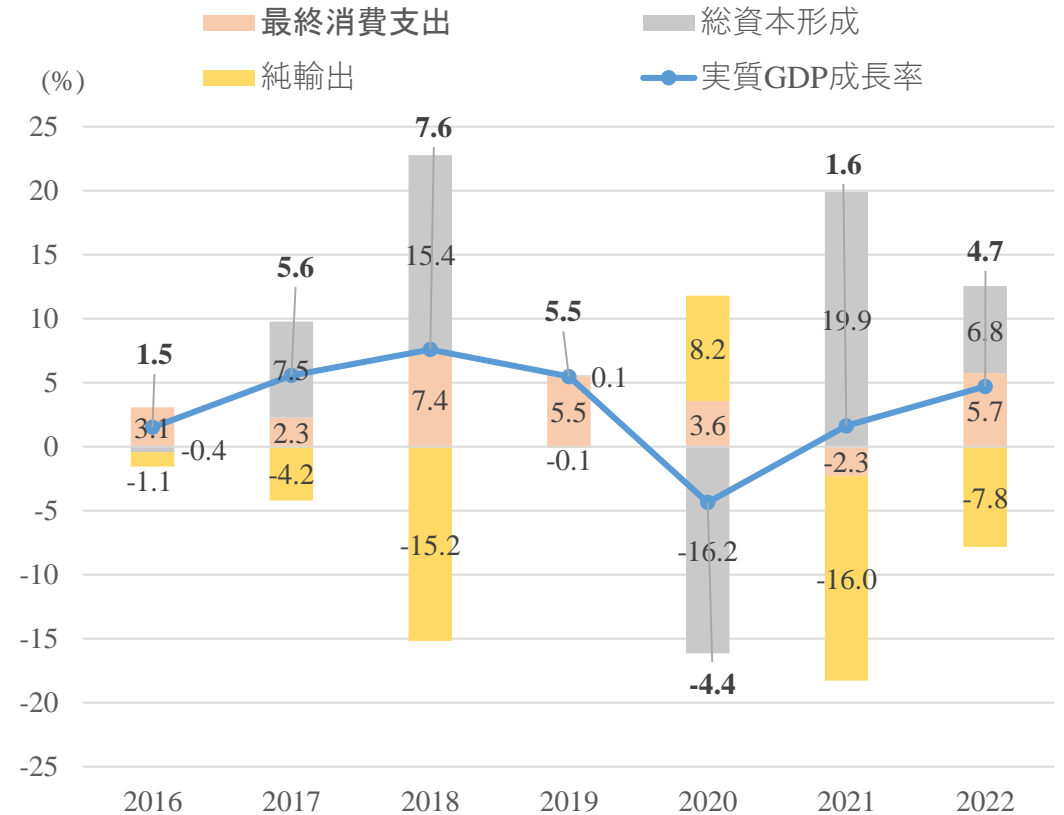
## 図2 供給サイド（生産アプローチ）

成長の最大の原動力はサービス業であり、次いで農業である。

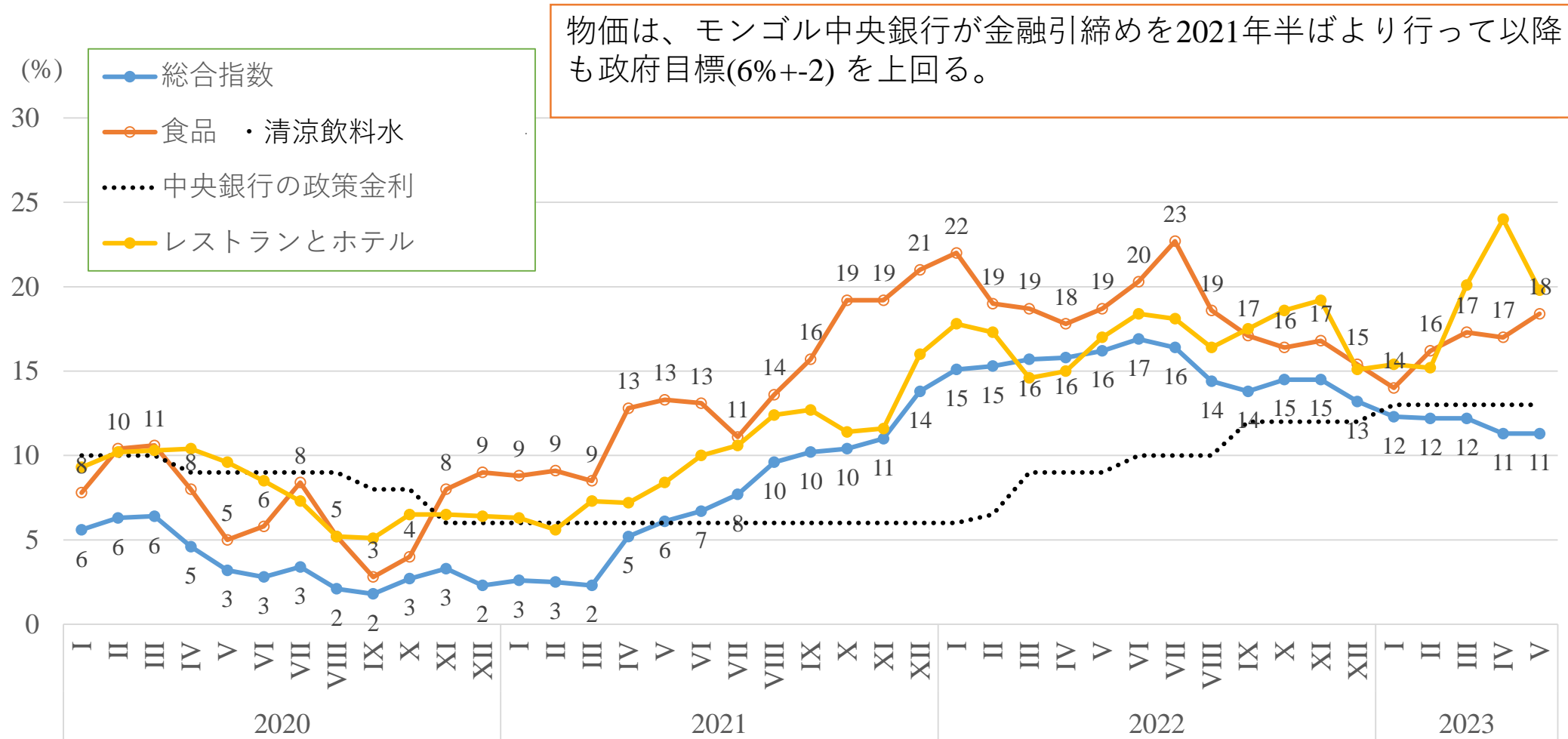


## 図3 需要サイド（支出アプローチ）

総資本形成は経済の重要な成長エンジンである。

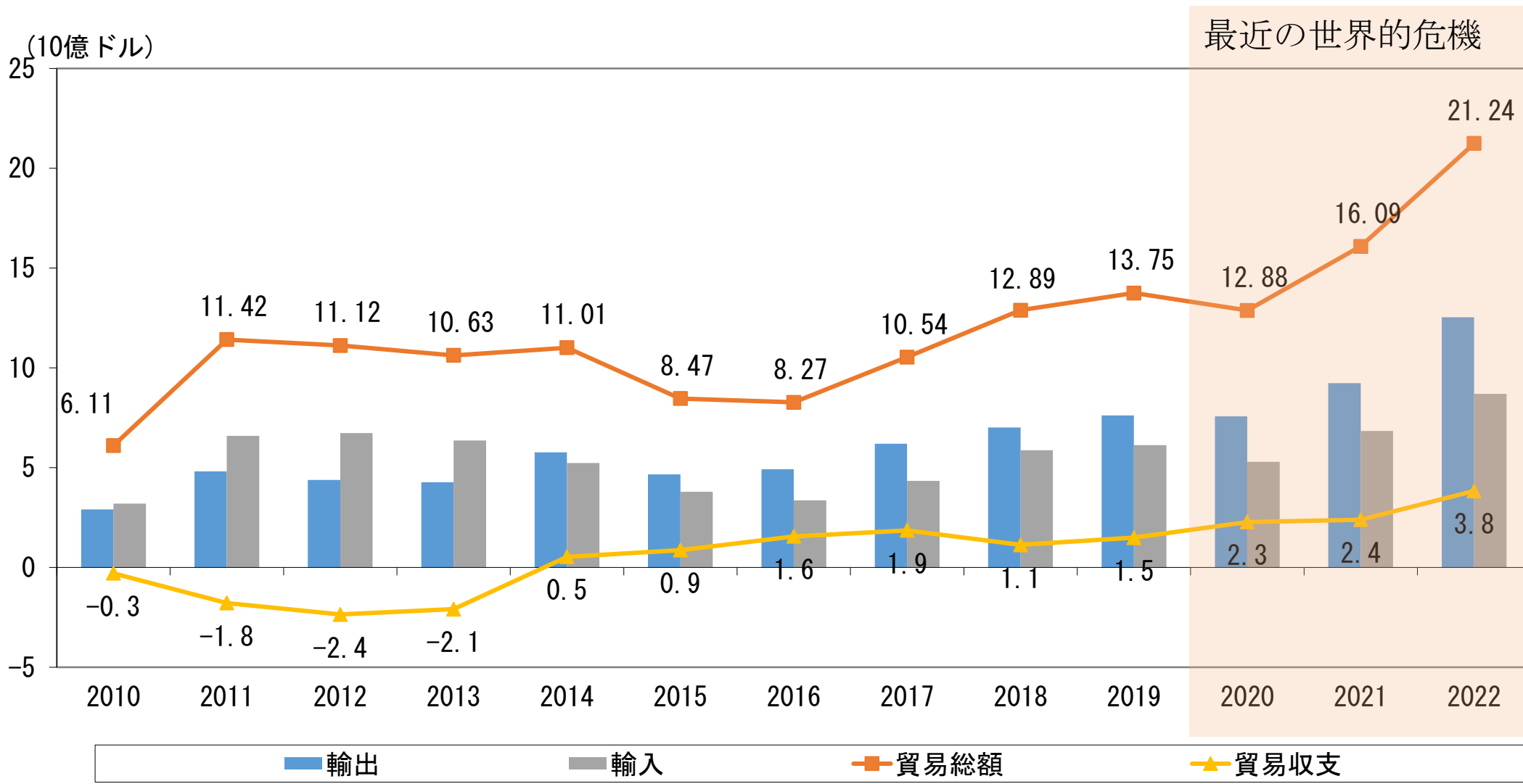


# 図4 全国消費者物価変化率（前年比、2020年 = 100）



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

# 図5 モンゴルの対外貿易（2010～2022年）

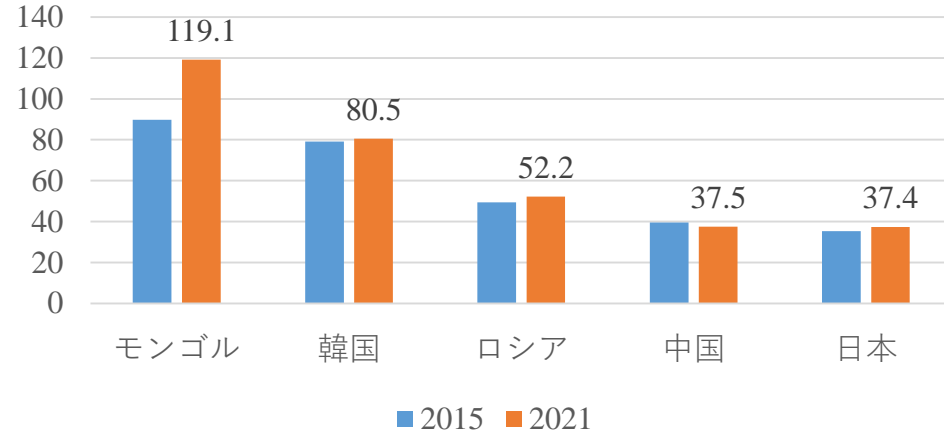


出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

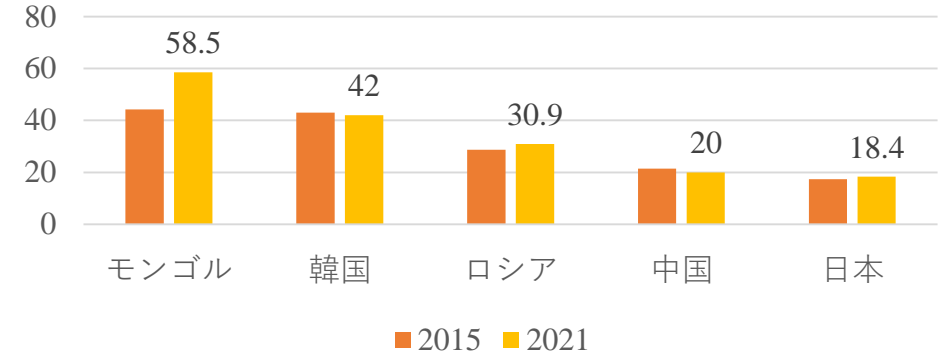
# 図6 NEA経済における貿易のウエイト

貿易のウエイトは、NEA加盟国の中でモンゴル経済にとって最も大きい。

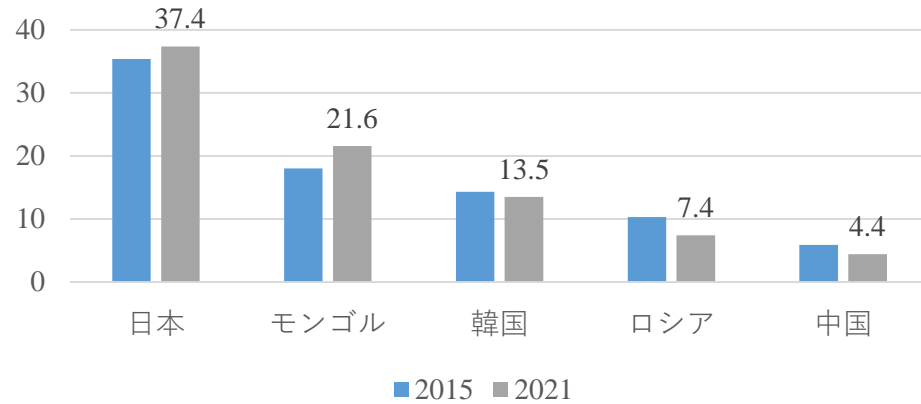
貿易（対GDP比、%）



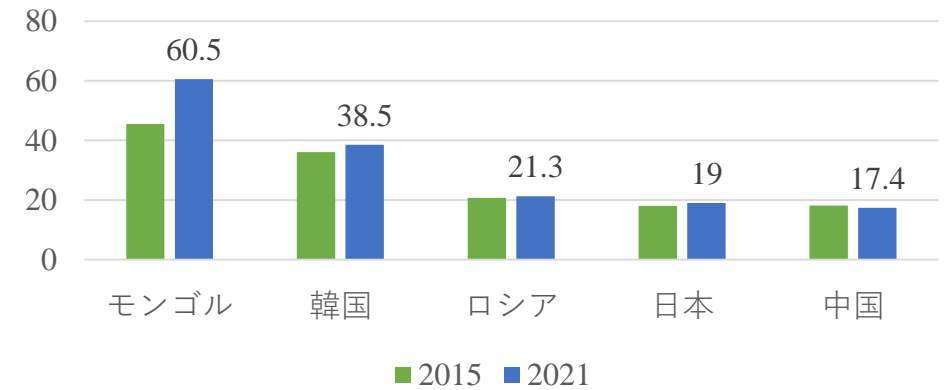
財・サービスの輸出（対GDP比、%）



サービス貿易（対GDP比、%）



財・サービスの輸入（対GDP比、%）

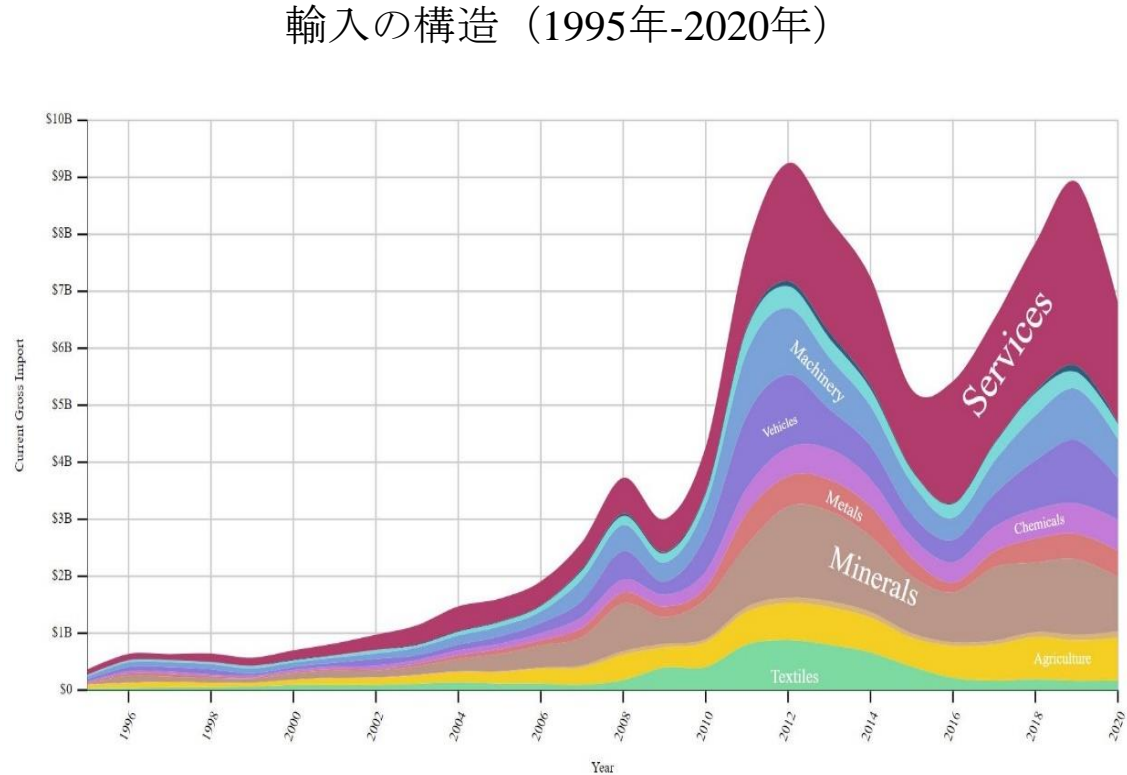
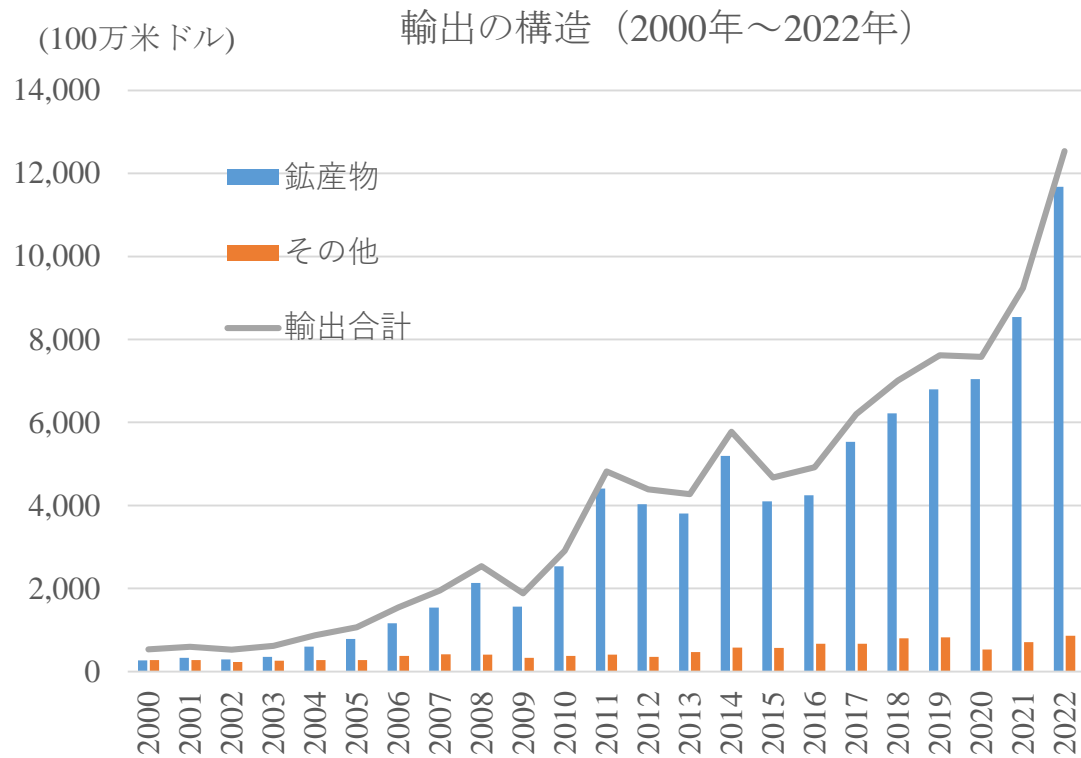




# 図7 モンゴルの対外貿易構造

鉱物資源が輸出の大半を占める（2022年には全体の93.1%）

モンゴルへの輸入は広範囲の一般消費財及び産業用生産財

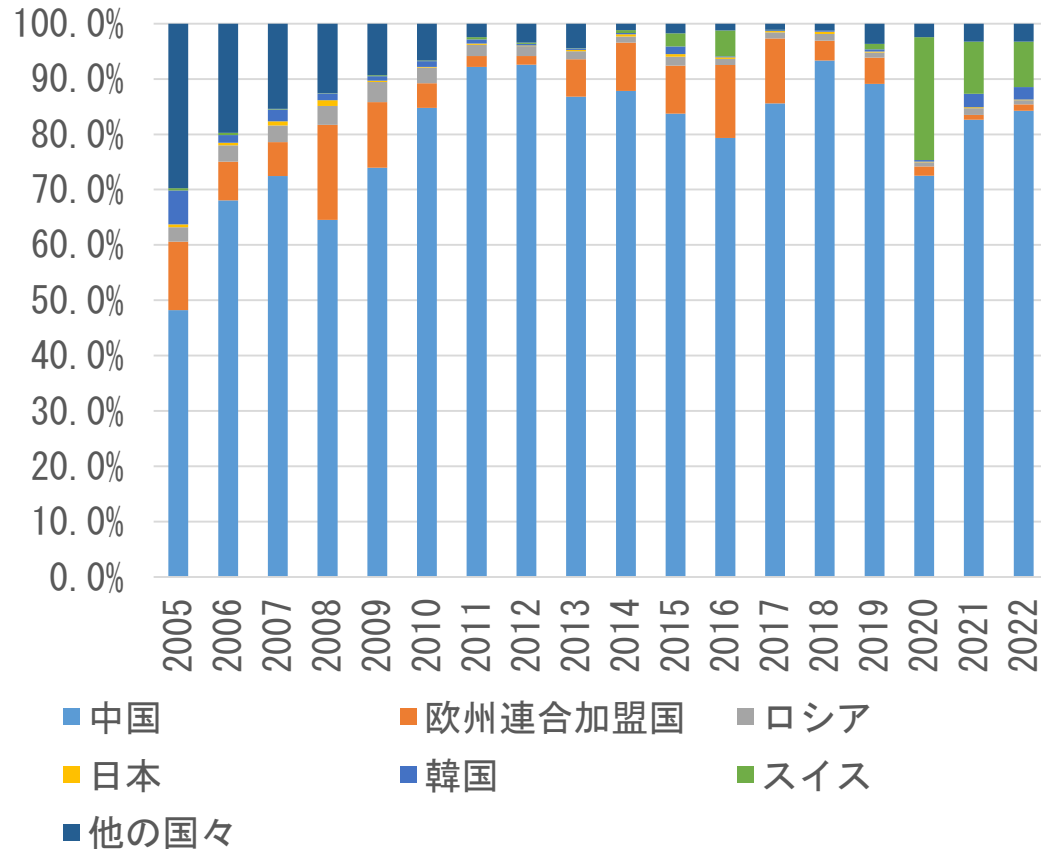


出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

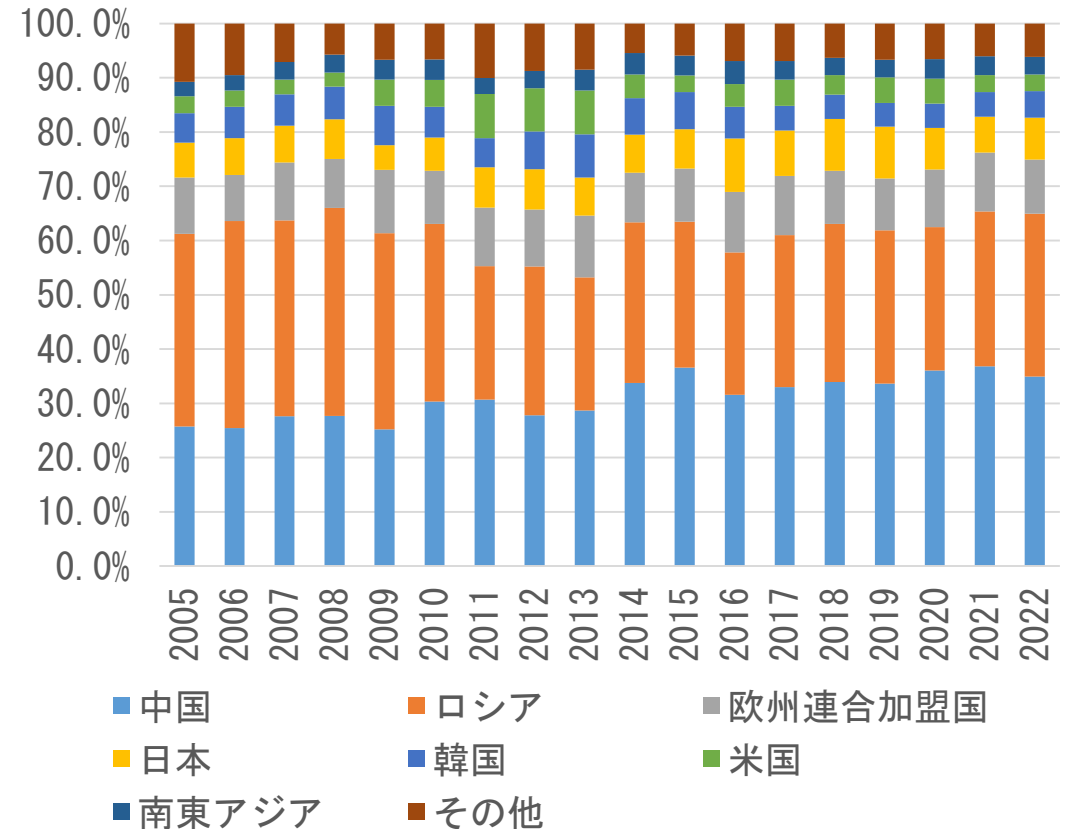
出典: The Growth Lab at Harvard University. The Atlas of Economic Complexity. <http://www.atlas.cid.harvard.edu>

# 図8 モンゴルの貿易相手国（2005～2022年）

輸出先（全体に占める割合）



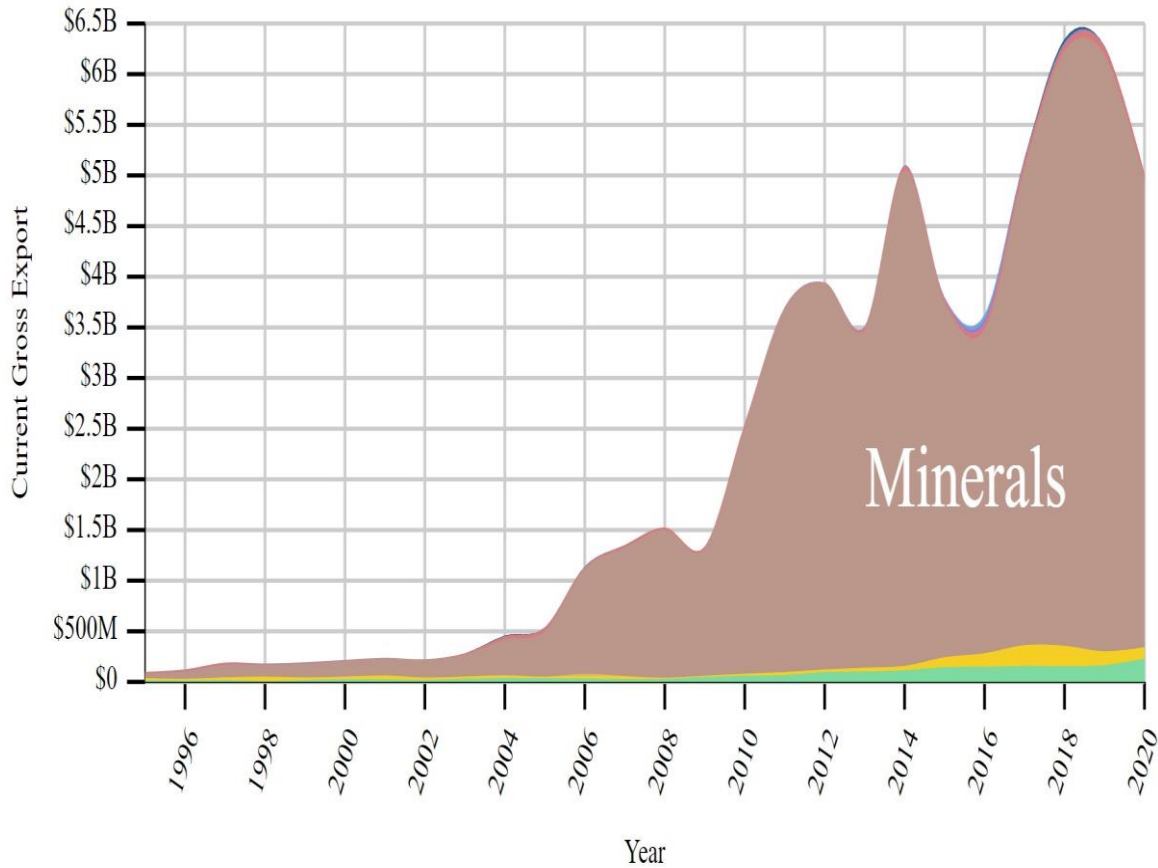
輸入先（全体に占める割合）



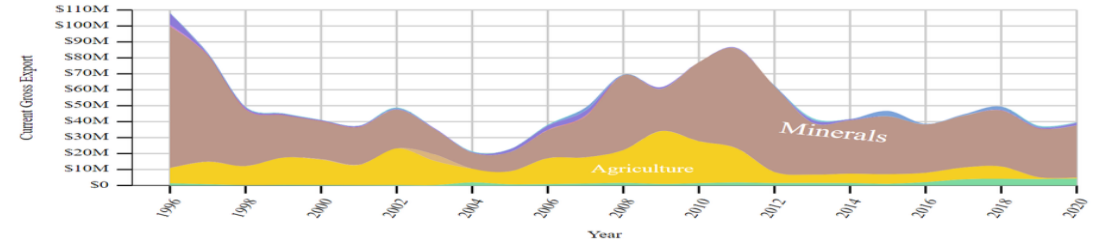
出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図9 モンゴルの対NEA輸出（1995-2020年）

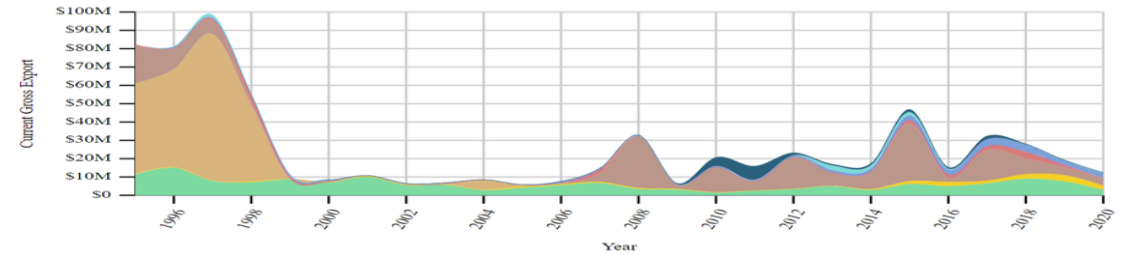
中国



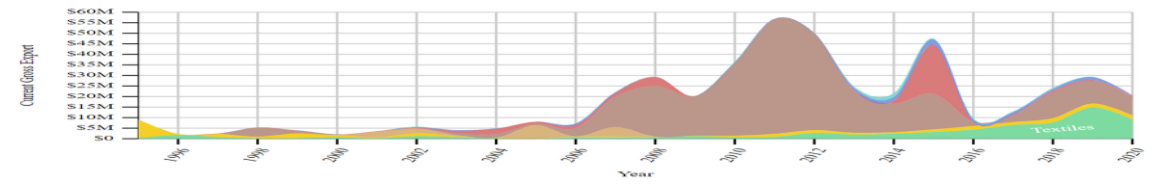
ロシア



日本



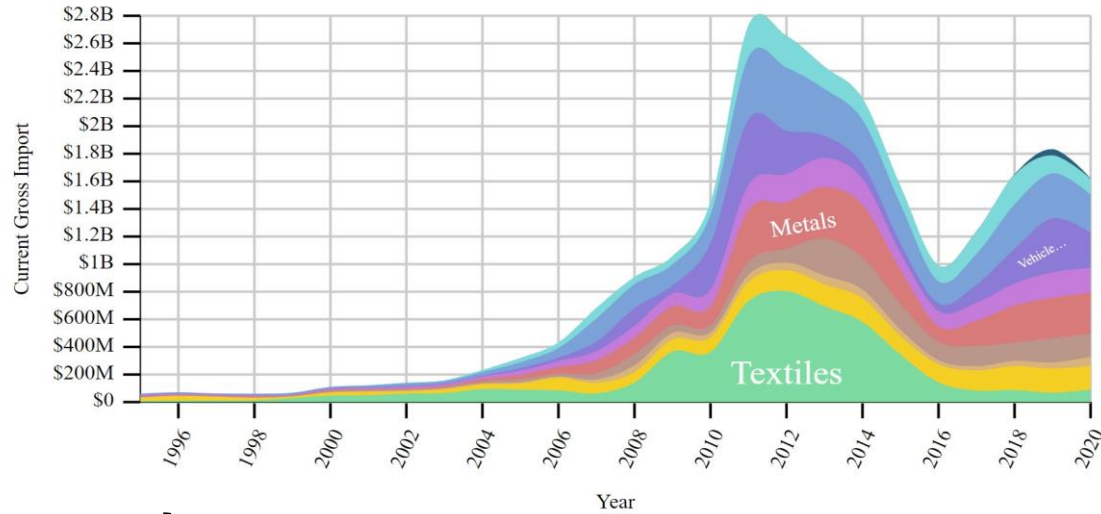
韓国



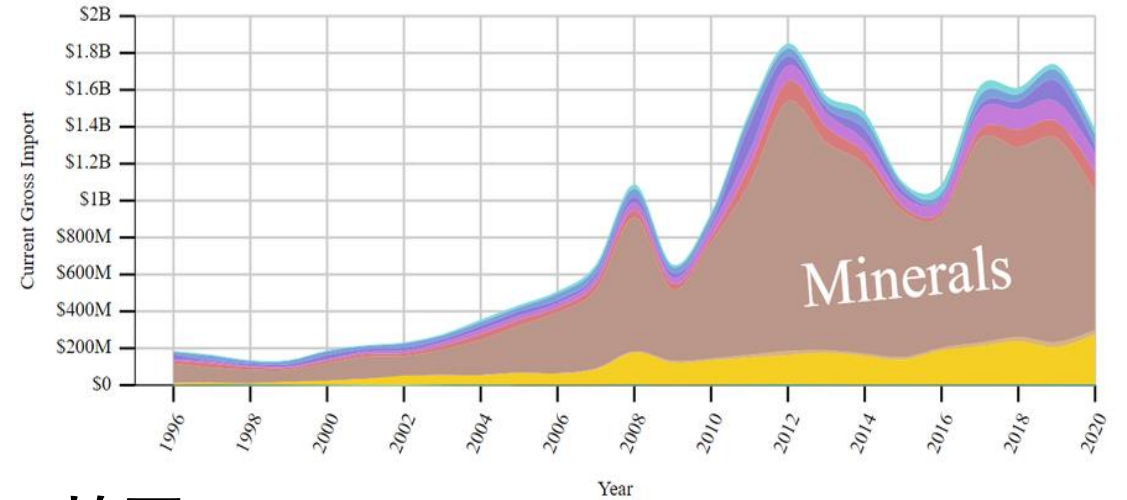
出典：The Growth Lab at Harvard University. The Atlas of Economic Complexity. <http://www.atlas.cid.harvard.edu>

図10 モンゴルのNEA諸国からの輸入1995-2020年（構造）

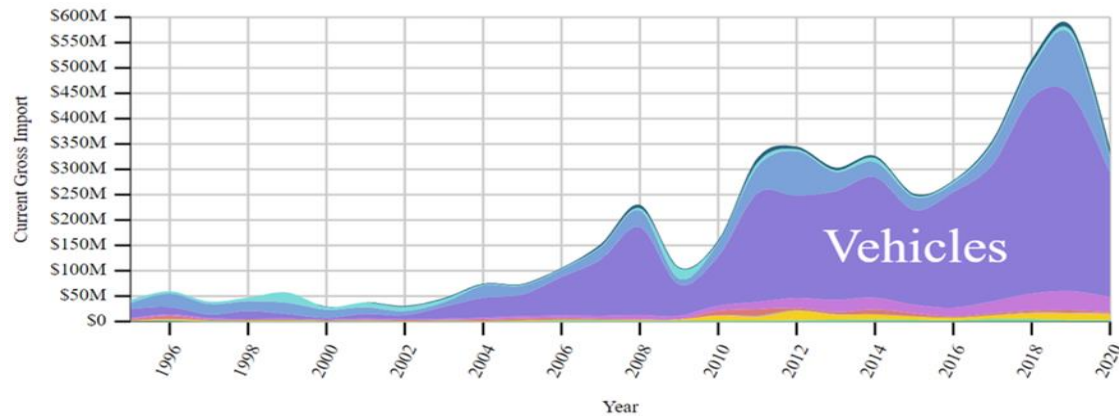
## 中国



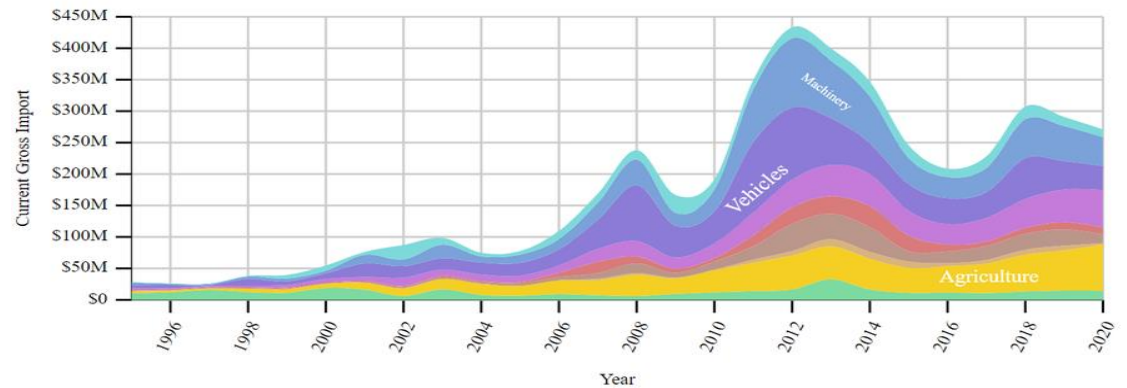
## ロシア



## 日本

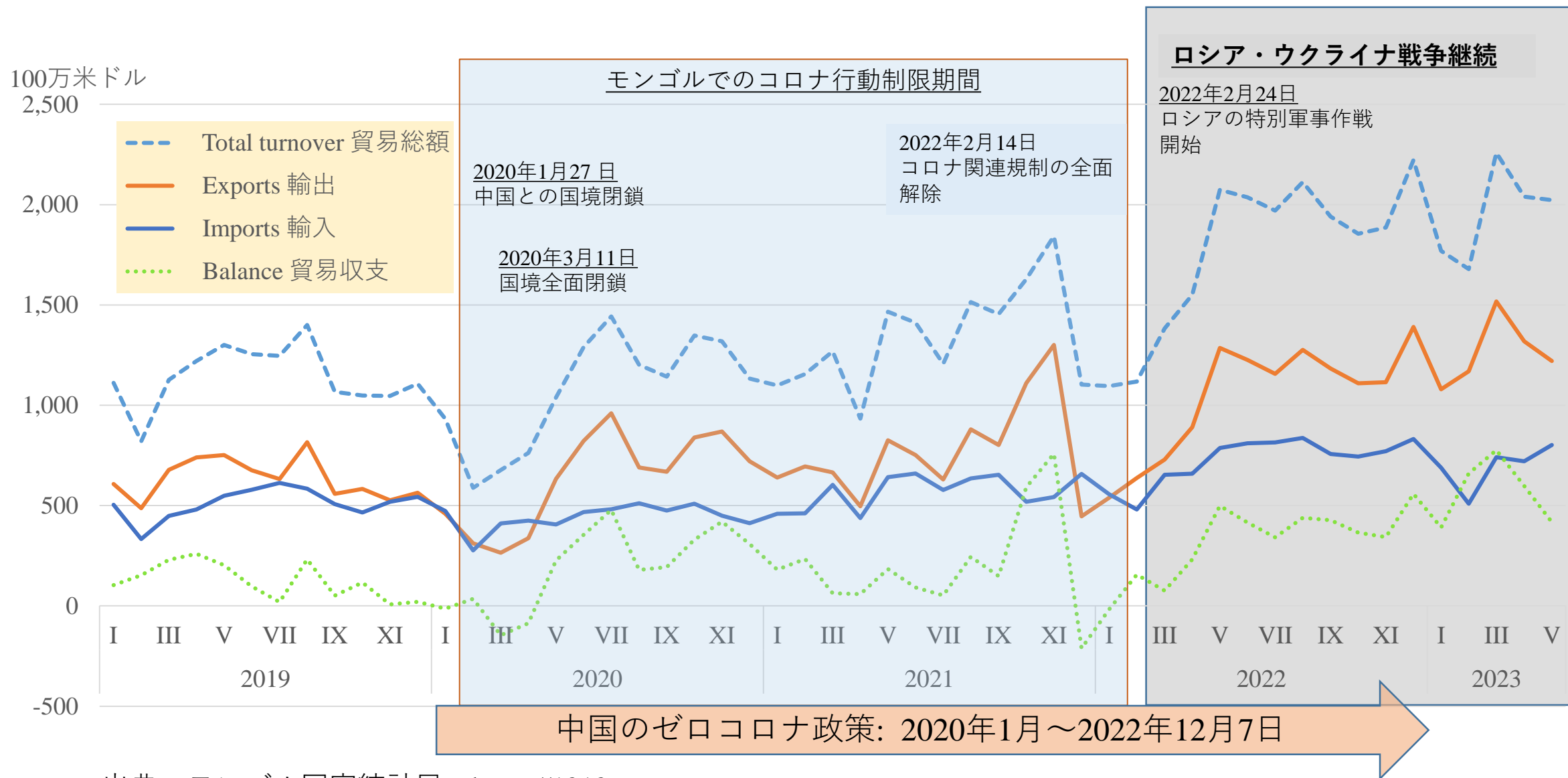


## 韓国



出典：The Growth Lab at Harvard University. The Atlas of Economic Complexity. <http://www.atlas.cid.harvard.edu>

# 図11 モンゴルの対外貿易 2019-2023（月次推移）

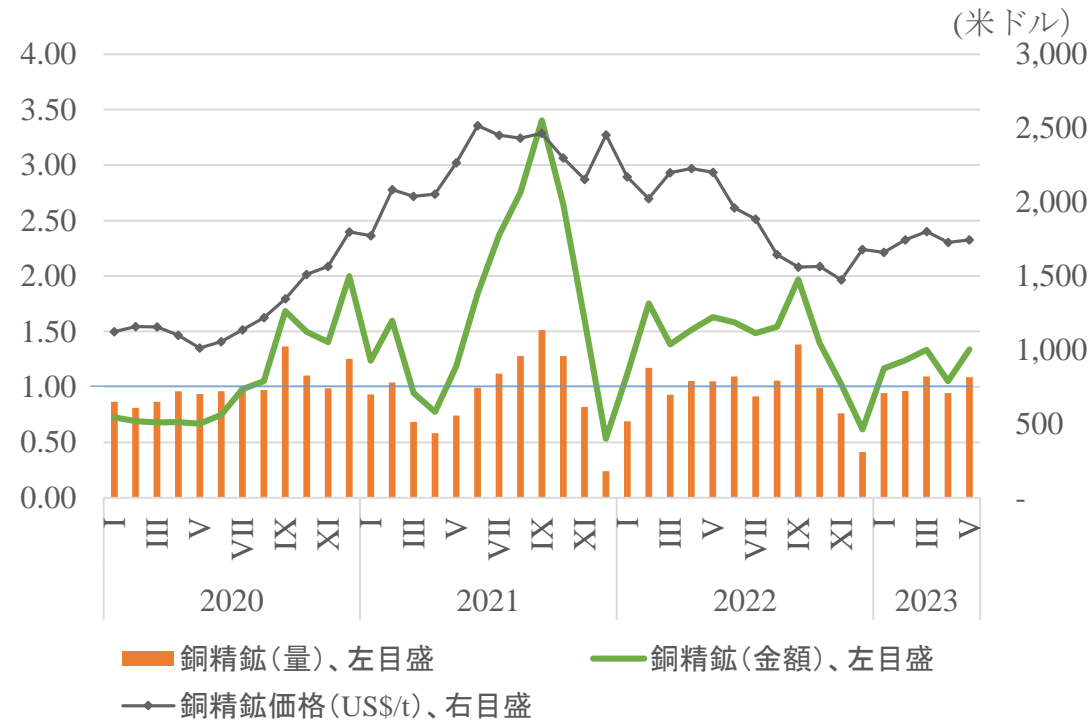


出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

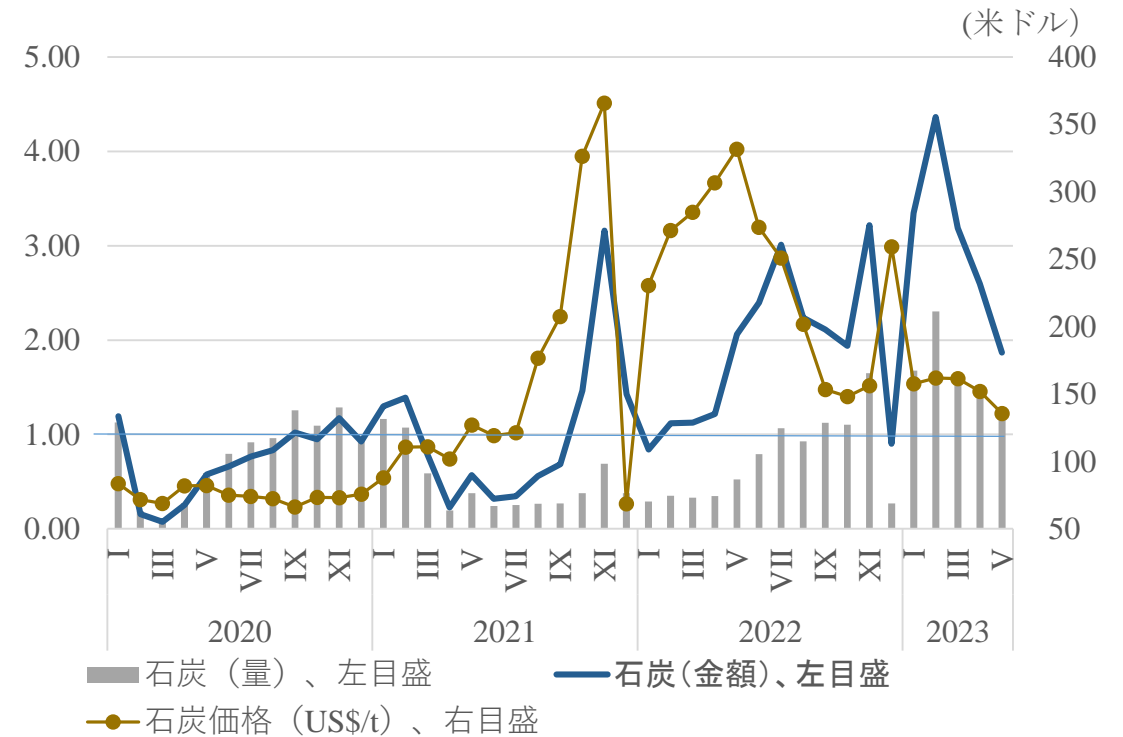
# 図12 主要輸出商品指数 (2019=1)

輸出額の増加はモンゴルの主要輸出品目の価格上昇に関連したものであったが、中国のゼロコロナ政策の長期化による国境制限によって数量は制約された。

## 銅精鉱



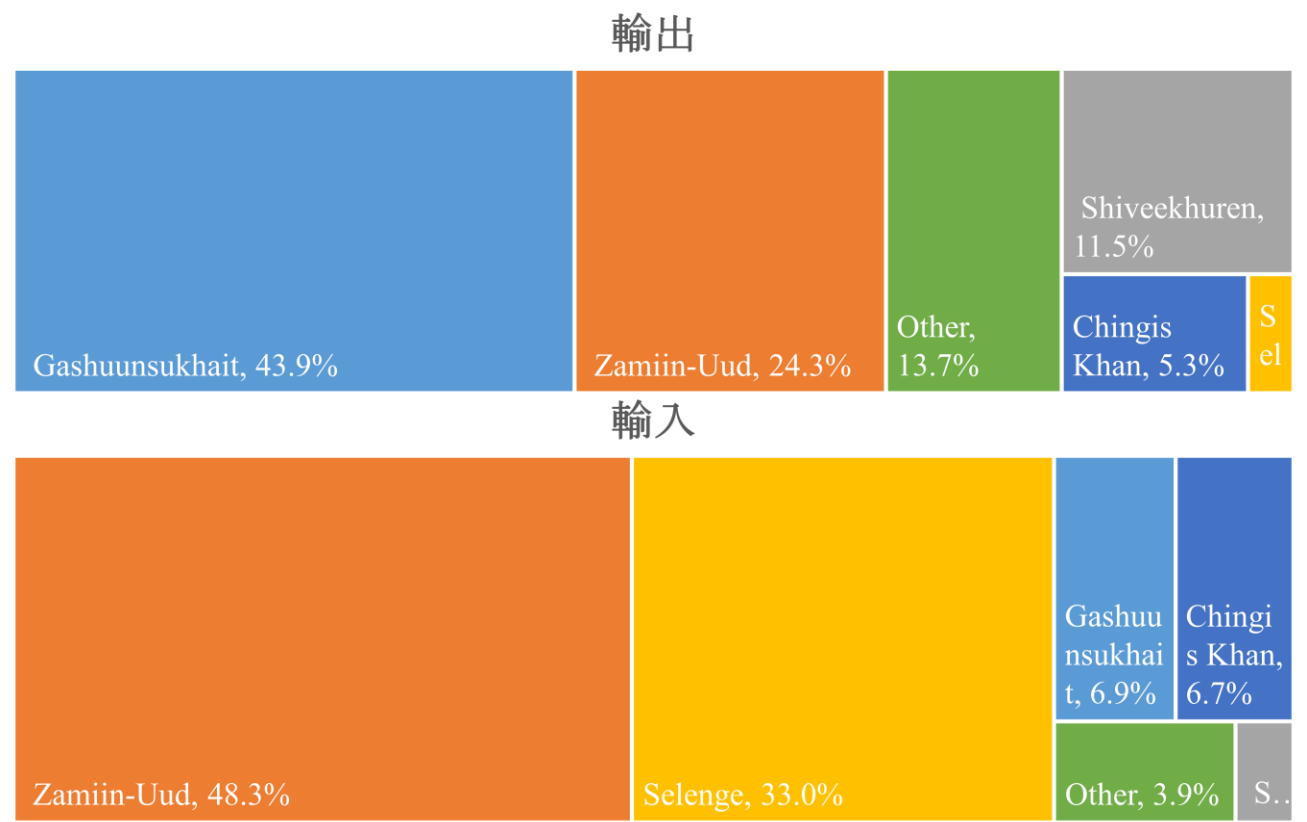
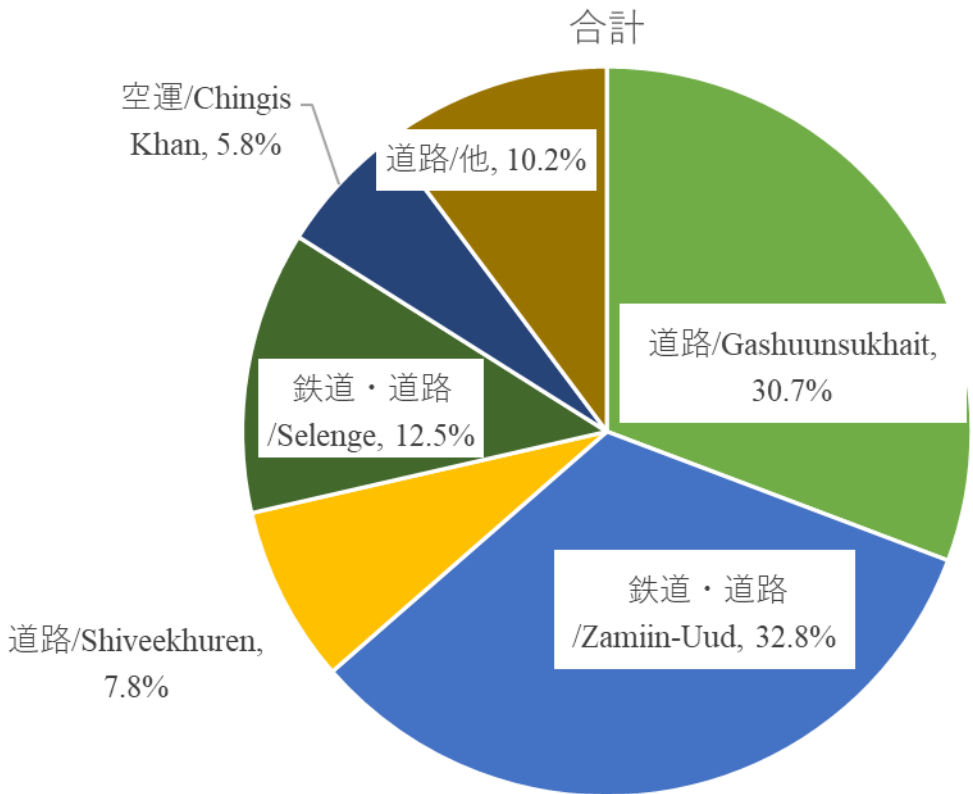
## 石炭



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

# 図13 モンゴルの通関地別貿易割合（2023年1～5月） （全体に占める割合）

貿易総額のほぼ95%が陸路国境を通じて行われている。  
 - うち中国：輸出の90%以上、輸入の60%以上  
 - うちロシア：輸出の2%未満、輸入の1/3



注：Gashuunsukhait, Zamiin-Uud, Shiveekhurenは中国との、Selengeはロシアとの陸上国境

# III 結論

- モンゴル経済は新型コロナウイルスのパンデミック・ショックから「V字型」に回復し、実質GDPは**2022年**にはパンデミック前の水準を回復した。
- サービス部門が引き続き成長の主な原動力となった。
- しかし、最近の世界的な危機は、経済がその潜在能力をフルに発揮する重荷となっている。
  - 対外貿易の回復には、中国のゼロコロナ政策の長期化が影響した。
    - 中国がモンゴルにとって主要な貿易相手国である。
    - 商品貿易の大部分は中国との国境を通じて行われている。



ご静聴ありがとうございました。  
Thank you for your kind attention!

ERINA-UNP

ウェブ : <https://www.unii.ac.jp/erina-unp/>